

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和5年3月1日

公表:令和5年3月31日

事業所名:みらいキッズ東陽町

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	設置基準を満たしています。お子様の状況や取り組みに応じて、スペースの使い分けをしています	
	2 職員の配置数は適切である	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	配置基準を満たしていますが、お子様の状況に合わせて、必要時にはマンツーマン対応をしています	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	重度対応児童が少なく特別設備はございませんが、職員対応で問題なく配慮されています。スケジュールボード、パーティションの使用等、お子様の特性に合わせて構造化を図っています	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	毎日のミーティング、職員会議を行いアイデアを出し合い、業務改善に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	評価表や日々の中で、保護者の方からいただいたご意見を職員で共有し、業務改善に努めています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	結果をホームページに掲示しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	第三者評価は受けていませんが、他事業の職員の意見や、管理者会議等で確認・進捗を確認しています。	
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	各種研修に参加を促し、スキルアップに努めています。今年はコロナ禍で研修の機会が減っていますが、Web研修等に参加しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	お子様や、保護者様からの聞き取り、関係機関との情報共有を図りながら、児童発達支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	サポートノートの提供をいただきアセスメントシートの強化を図っています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者が統括する中で、職員間で検討しながら、数名の職員が担当して立案し、職員間で内容を共有しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	月に4～5回の各種イベントを開催しています。児童の利用曜日に合わせて、同じ内容が出来るだけ続かないように配慮しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	小集団では社会性の向上、個別活動では机上課題を主に行っています。集団活動と個別活動の時間配分をして組み合わせています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	朝会で打合せを行い、その日の流れを確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	終了後は打合せを行い、気づきや次回の支援に必要なことを話し合っています。毎日は実施できていないため、体制作りを行います。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	利用毎に、活動の様子を記録しています。気づきを支援記録書き出し、また職員間の連絡ノートに記載して共有を図っています	
適切な 支援の 提供	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	6ヶ月に1回は行っています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	個別支援計画を作成し、保護者の方に説明、同意を頂いています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	朝会の中で個別児童のことについて児童発達支援管理責任者の他、お子様の状況に合わせてその他の職員も参画しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	学校情報は保護者または学校の先生	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%	現在医療的ケアを必要とする児童はいませんが、受け入れの際には関係機関と連携を図ります	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	移行組との情報提供しっかり対応しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	現在対象がいません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%	コロナ禍で研修の機会が減っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	コロナ禍で機会がございません
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	今後の参加を強化していきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	連絡帳や送迎時等にて、お子様の状況について情報共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	ペアレント・トレーニングは行っていませんが、日々の気づき、お子様の良いところを保護者の方に伝え、連携に努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	利用契約締結時には、重要事項等の説明、利用者負担額等の説明を行っています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	連絡帳や送迎時等にて、お子様の状況について情報共有しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	保護者会はありませんが、懇談会や保護者参加型の行事を通して保護者同士の交流の場になればと考えています。ただし、コロナ禍で当面对応いたしません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	苦情受付箱を設置、苦情受付担当者、第三者委員を設けています。職員連絡帳にも記載をし、ご指摘の内容や解決策に対して迅速、適切に対応できるよう努めています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	月に数回、メールにて連絡事項等配信しています。また、お子様の活動予定やお子様方の様子を配信しています。
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	文書の破棄にはシュレッダーを使い、書面での情報提供の際には保護者の方に同意をいただいています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	わかりやすい説明や連絡手段等個別に検討して、対応しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	事業所内で外部向けの行事等がなく、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で交流を控えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	各種マニュアルを策定しています。懇談会等で公開していきたいと思えます。定期的に事業所全体で避難訓練を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	定期的に事業所全体で避難訓練を行っています。実施の際は連絡帳に記録をしています。できるだけ、全員のお子様1回は経験できるよう、日時調整をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	虐待防止に関する職場内研修を年に1回以上開催し、全職員が参加するようにしています。毎月の会議にて虐待防止についてのスピーチを行い、啓発につなげています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	人として、緊急やむを得ない場合の身体拘束に係る適切な手順を定め、それに沿って実施しています。同意書・計画に記載、改善に向けた協議を行っています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	利用前にアレルギーの有無に関するアンケートを行い、確認しています。現在食物アレルギーのあるお子様はいませんが、今後アレルギーのあるお子様については医師の指示書等情報提供を求めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	ヒヤリハットを提出し、毎月の会議にて検証を行、対策の周知を図っています